

事務事業名	庁舎施設(里方分庁舎)整備事業	所属部	総務部	所属課	管財課	
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	財産管理監視グループ	
	施策名	〈05〉時代にあった行政サービスの実現		課長名	日野誠	
	目的対象	行政機能	意図	電話番号	0854-40-1025	
	目的対象	行政機能	意図	(内線)	3558	
	基本事業名	〈012〉業務と組織機構の効率化		担当者名	南波真二	
	目的対象	行政機能	意図	効率的な組織機構で効果的な行政サービスを提供する。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 1 0 0 7 庁舎施設整備事業 項 目 中事業 中事業名 0 5 3 0 0 1 庁舎施設整備事業

1 現状把握〔DO〕

(1) 事業概要

① 事業期間
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
国有財産(旧松江地方務局雲南支局)を取得し、分庁舎として利用するために必要な整備を行う。 施設概要 所在地 雲南市木次町里方952-5 敷地面積 1375.06㎡ 建物構造 RC2階建(一部S造2階建) 建築年 昭和55年3月(平成9、15年一部増築) 建築面積 487.25㎡ 延床面積 935.95㎡ 付属建物 車庫2棟

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	26年度実績(26年度に行った主な活動)		27年度計画(27年度に計画する主な活動)		
		・財産取得(土地及び建物) ・施設改修工事設計業務発注 ・施設改修工事発注 ・庁舎移転		平成26年度終了事業		
	② 活動指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	ア 分庁舎施設整備	棟			1	0
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	分庁舎施設	ア 分庁舎施設(関連分のみ)	棟	2	2	3	1
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	
建設中である新庁舎の近くに分庁舎を取得、整備することにより、より効率的な行政サービスの提供が可能となる。また、分庁舎施設の統合により、維持費の削減が可能となる。	ア 分庁舎施設(関連分のみ)	棟	2	2	3	1	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(26年度決算)	② コストの推移	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
公有財産購入費(土地) 21,960千円 公有財産購入費(建物) 16,040千円 委託料 4,183千円 工事請負費 71,768千円 その他 518千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			107,000
		その他	千円			
		一般財源	千円			7,469
		事業費計(A)	千円			114,469
		正規職員従事人数	人			1
	延べ業務時間	時間			557	
	人件費計(B)	千円			2,166	
	トータルコスト(A)+(B)	千円			116,635	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
県道整備に伴い大東分庁舎の移転が必要となったため、代替庁舎の整備が必要となった。	庁舎整備費を抑制するため、廃止された国有財産の取得を行うこととした。また、新庁舎の近くに分庁舎を取得、整備することにより、より効率的な行政サービスの提供が可能となる。	特筆すべき事項なし。

事務事業名	庁舎施設(里方分庁舎)整備事業	所属部	総務部	所属課	管財課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-----

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合⇒
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？	
B 有効性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合⇒
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合⇒
C 効率性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 単年度事業であるため事業の継続性なし。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無	<input type="checkbox"/> 影響有	理由 単年度事業であるため事業の継続性なし。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	理由 単年度事業であるため事業の継続性なし。
C 効率性	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 単年度事業であるため事業の継続性なし。なお、当該年度の予算執行については削減に努めた。
	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 単年度事業であるため事業の継続性なし。なお、当該年度は効率的な事業実施に努め人件費の抑制を図った。
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 単年度事業であるため事業の継続性なし。なお、当該年度は効率的な事業実施に努め人件費の抑制を図った。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 該当事項なし。	

評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果	② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	事業目的を達成できた。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持			×																				
	低下		×	×																				
単年度事業であるため、事業の継続性なし。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																							